１１月例会レジュメ

（H21 年 11 月 20 日（金）18:00～20:30 開催）

場所　日本技術士会　葺手第二ビル5階　A. B 会議室

参加者　２６名（発表者含む）

議題　：「原子力・放射線部門の技術士個人活動事例紹介と座談会」　総合司会　鈴木幹事

概要　：桑江幹事により、本例会の趣旨説明の後に、個人活動事例を以下の 4 テーマについて、

1.　技術士（個人）としての業務に関して　：永嶋（テーマ2を含む）、平川、岡村技術士
2.　技術士としての教育現場支援に関して　：林、中野、成川技術士
3.　技術士としての地域活動に関して　：今本技術士
4.　今後の技術士活動の参考となるテーマ　：上野、佐川技術士

の順に紹介があった。また、上記以外の論文投稿実績等の紹介と、技術士の名称を用いた雑誌等への投稿の効果を、桑江幹事が紹介し、その後意見交換を行った。主な議論は以下の通り。

意見交換の司会を行う鈴木幹事

【技術士資格を活用した個人事業者としての業務について】

- Q 個人事業者が、官庁入札のための入札資格の入手手順は如何に?
  A 各省庁の HP に窓口があり、入札時の適合証明のために事前に資格登録を行う。内容は昨年度の財務実績や事業分野の情報で、1 カ所で登録すれば共通で使える。
- Q 入札資格の斡旋等を行うと個人事業者としての技術士間の競合が起きるのでは?
  A 大事なことは技術士業界全体のボトムアップを行う事である。入札資格を持つ技術士が増え、技術士としての収入の機会が認知されることで、技術士の魅力が増すと思われる。

【業務の斡旋や紹介、技術士個人と技術士会の関係について】

- 北海道の高専への原子力発電関連の講義は、一個人の技術士に来た話を、技術士会のネットワークを通じて今回の講師を紹介してもらった。個人から部会へ部会から個人へのネットワークもある。
- 部会が窓口になり、個人に活動の場を紹介・斡旋できれば理想と思われるが、組織的にできる体制にはなっていない。現時点では、技術士各々が部会を活用しながら実績を積み上げていきたい。
- 技術士の専門マップを作ろうとのアイデアもある。部会を介した斡旋に繋げるためにもHPで個人活動実績や専門領域を紹介する等の試みも検討したい。
- 個人の情報収集には限界がある。技術士会が収集した情報を HP に紹介するだけでも効果は大きい。

技術士個人活動の報告を行う永嶋技術士

【地域における理科教育支援等、技術士としての貢献方法について】

- 自治体と企業の技術士が連携した理科クラブ等の成功の鍵は、ボランティア（人）の確保と、一過性ではない継続的な予算措置の両方である。モデルはできており、他地域への展開は可能である。
- 理科教室等は原子力・放射線分野単独のテーマでは難しい。理科教室の機会も多いため、まず技術士個人として参加し、ネットワークを築くことが大切。他の部会との連携を考えるのも効果的。
- 区の有識者の会、PTA活動等、仕事と関連のないボランティアから原子力のリスクコミュニケーションに繋がることもある。動いたことで発信し、それがカスケード的に繋がる事も多い。

以　上